

中華人民共和国住宅・都市農村建設部

中華人民共和国国家発展・改革委員会

## 社区<sup>1</sup>高齢者デイサービスセンターの建設基準

(和文仮訳)

建標 143-2010

<ご利用にあたって>

これらの翻訳は公定訳ではありません。法的効力を有するのは原文の法令自体であり、翻訳はあくまでその理解を助けるための参考資料です。このページの利用に伴って発生した問題について、一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

JICA 中華人民共和国事務所

2011 北 京

---

<sup>1</sup> (訳注) 社区は中国語を直訳したものである。コミュニティーに相当する。

# 社区高齢者デイサービスセンター建設基準

建標 143-2010

主要編制部門：中華人民共和國民政部

承認部門：中華人民共和國住宅・都市農村建設部

中華人民共和國國家發展・改革委員會

施行日時：2011年3月1日

＜ご利用にあたって＞

これらの翻訳は公定訳ではありません。法的効力を有するのは原文の法令自体であり、翻訳はあくまでその理解を助けるための参考資料です。このページの利用に伴って発生した問題について、一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

JICA 中華人民共和國事務所

中国計画出版社

2011 北 京

中華人民共和国住宅・都市農村建設部  
中華人民共和国国家發展・改革委員会  
社区高齢者デイサービスセンター建設基準  
建標 143-2010

☆

中華人民共和国民政部 中心編制  
中国計画出版社出版

(住所：北京市西城区木樨地北里甲 11 号国宏大厦 C 座 4 層)

(郵便番号：100038 電話：63906433 63906381)

新華書店北京発行所発行  
世界知識印刷廠印刷

---

850×1168 ミリ 1/32 1.125 枚 23 千字

2011 年 2 月第 1 版 2011 年 2 月初版

印刷部数 1-6,000 冊

☆

統一書籍番号：1580177·558

定価：12.00 元

(国内発行限定)

住宅・都市農村建設部、国家発展・改革委員会  
『社区高齢者デイサービスセンター建設基準』の承認・公布  
に関する通知

建標〔2010〕193号

国务院関係部門、各省・自治区・直轄市・計画単列市の住宅・都市農村建設庁（委・局）・発展・改革委員会、新疆生産建設兵団建設局、発展・改革委員会：住宅・都市農村建設部の『「2009年事業プロジェクト建設基準、建設プロジェクト評価方法およびパラメーター編制プロジェクト計画」の印刷・配布に関する通知』（建標函〔2009〕320号）の要求に基づいて、民政部が編制した『社区高齢者デイサービスセンター建設基準』は、関係部門の合同審査を経て、ここに承認・公布し、2011年3月1日から施行する。

社区高齢者デイサービスセンター建設プロジェクトの審査・承認、設計、建設過程においては、建設基準の厳格な規制、事業コストのさらなる削減に関する要求を厳守し、本建設基準を真摯に執行し、事業コストを断固として抑制しなければならない。

本建設基準の管理は、住宅・都市農村建設部および国家発展・改革委員会が行い、具体的な解釈は民政部が行う。

中華人民共和国住宅・都市農村建設部  
中華人民共和国国家発展・改革委員会  
二〇一〇年十一月十七日

## 序 文

『社区高齢者デイサービスセンター建設基準』は、住宅・都市農村建設部の『「2009年事業プロジェクト建設基準、建設プロジェクト評価方法およびパラメーター編制プロジェクト計画」の印刷・配布に関する通知』（建標函〔2009〕320号）の要求に基づき、民政部が関係機関と共同で編制させたものである。

編制過程において、編制チームは『中華人民共和国老人權益保障法』関連規定に基づき、『中国共産党中央、国務院による高齢者事業強化に関する決定』、『国務院による社区サービス活動の強化・改善に関する意見』の関連要求を遵守し、全国の異なる地区で広く掘り下げた調査研究を行い、各地の社区高齢者デイサービスセンター建設の経験・教訓を総括した。科学的論証と分析を踏まえ、基準的な意見募集稿を作成した。各方面の意見を幅広く求め、修正を繰り返して審査稿を作成し、専門家の審査会議を経て承認要請稿を作成し、住宅・都市農村建設部、国家発展・改革委員会が承認、公布した。

本建設基準は、総則、建設内容およびプロジェクト構成、建設規模および面積指標、用地選定および計画配置、建築基準および関連施設の五章に分けられる。

本建設基準の執行過程において、各機関は経験を総括し、資料を蓄積し、修正および補足が必要な個所が見つかった場合は、今後の修正時の参考となるよう、意見および関連資料を民政部計画財務司（住所：北京市東城区北河沿大街147号、郵便番号：100721）までお寄せ願いたい。

主要編制機関：民政部計画財務司

民政部基層政権・社区建設司

中国老齡科学研究センター

編制メンバー：	姜 力	宋志強	陳越良	王金華	張愷悌
	徐秀玲	劉 健	紀占国	劉 勇	陳 剛
	伍小蘭	王莉莉	董彭滔	羅曉暉	
主要起草者：	陳 剛	伍小蘭	王莉莉	董彭滔	羅曉暉

## 目 次

第一章 総則	(1)
第二章 建設内容およびプロジェクト構成	(3)
第三章 建設規模および面積指標	(4)
第四章 用地選定および計画配置	(5)
第五章 建築基準および関連施設	(6)
参考資料 主要名詞の解説	(8)
本建設基準用語および用語説明	(9)
附属文書 社区高齢者デイサービスセンター建設基準条文説明	(11)

## 第一章 総則

**第一条** 社区高齢者デイサービスセンターのインフラ建設を強化、標準化し、工事プロジェクトの政策決定および建設管理水準を高め、投資の効果を十分に発揮させ、中国の養老事業の発展を推進するため、『中華人民共和国高齢者權益保障法』に基づいて本建設基準を制定する。

**第二条** 本建設基準は、社区高齢者デイサービスセンター建設プロジェクトの政策決定および建設水準を合理的に確定するための全国統一基準であり、社区高齢者デイサービスセンタープロジェクトの評価、審査承認の重要な根拠であり、関係部門が工事の初期設計を審査し、建設の全過程を監督検査するための尺度でもある。

**第三条** 本建設基準は、社区高齢者デイサービスセンター新築工事プロジェクトに適用し、改築プロジェクト、増築プロジェクトの参考としてもよい。

本建設基準が指す社区高齢者デイサービスセンターは、身の回りのことを自分でできない、日常生活に一定の世話が必要な半能力喪失高齢者を中心とするデイサービス高齢者に食事提供、一人一人の世話、ヘルスリハビリ、レクリエーション、送迎などのデイサービスを提供する施設である。

**第四条** 社区高齢者デイサービスセンター建設は、国家経済建設の方針政策を遵守し、国家の関連法律法規に則って、高齢者の実際のニーズから発し、社会・経済の発展水準を総合的に考慮し、現地に適した政策を講じ、本建設基準の規定に基づいて、建設水準を合理的に確定しなければならない。

**第五条** 社区高齢者デイサービスセンター建設は、デイサービス高齢者の生活の世話、ヘルスリハビリ、メンタルケアなどの面における基本的ニーズを満たし、規模を適切にし、機能を整え、安全かつ衛生的、経済的な運営が行えるようにすべきである。

**第六条** 社区高齢者デイサービスセンター建設は、経済・社会の発展レベルに適応し、国民経済・社会発展計画に盛り込まれ、統一的に計画・手配され、政府の資金投入が確実でなければならず、その建設用地は都市計画に盛り込まれるべきである。

**第七条** 社区高齢者デイサービスセンター建設はその他社区公共サービスおよび福利施設を十分に生かして、資源の統合および共有を実行すべきである。統一計画、合理的配置を行って、国家の省エネ・排出削減の要求を十分に具現化すべきである。

**第八条** 社区高齢者デイサービスセンター建設は、本建設基準だけでなく、国

家の現行の関連基準、決められた規定にも合致すべきである。



## 第二章 建設内容およびプロジェクト構成

**第九条** 社区高齢者デイサービスセンター建設には、建物の建築および建築設備、スペース、基本装備の整備が含まれる。

**第十条** 社区高齢者デイサービスセンターの建物建設において、実際のニーズに基づいて高齢者の生活サービス、ヘルスリハビリ、補助ルームを合理的に設置すべきである。

その内：

高齢者生活サービスルームには、休憩ルーム、風呂場（理髪室を含む）とレストラン（配膳ルームを含む）が含まれる。

高齢者ヘルスリハビリルームには、医療保健ルーム、リハビリテーションルーム、カウンセリングルームが含まれる。

高齢者レクリエーションルームには、閲覧ルーム（書画室を含む）、インターネットルーム、多機能活動ルームが含まれる。

補助ルームには、事務室、キッチン、ランドリールーム、共同トイレ、その他ルーム（倉庫などを含む）が含まれる。

**第十一条** 社区高齢者デイサービスセンターの建築設備には、電力供給、給排水、暖房通風、通信、消防、ネットワークなどの設備が含まれるべきである。

**第十二条** 社区高齢者デイサービスセンタースペースには、道路、駐車場、緑化、屋外活動などのスペースを含むべきである。

**第十三条** 社区高齢者デイサービスセンターには、生活サービス、ヘルスリハビリ、レクリエーション、セキュリティなどの関連設備および必要な交通ツールを配備すべきである。

### 第三章 建設規模および面積指標

**第十四条** 社区高齢者デイサービスセンターの建設規模は、社区の居住人口数を主な根拠とし、サービス半径も考慮して確定すべきである。

**第十五条** 社区高齢者デイサービスセンターの建設規模は三種類に分けられ、その建物建築面積指標は、表1の規定に合致させることが望ましい。人口の高齢化水準が高い地区は、実際のニーズに基づいて適宜建築面積を増やしてもよい。一、二、三類社区の高齢者デイサービスセンターの建物建築面積は、それぞれ高齢者一人当たりの建物建築面積0.26㎡、0.32㎡、0.39㎡に基づいて審査・決定してもよい。

表1 社区高齢者デイサービスセンターの建物建築面積指標表

類別	社区の人口規模（人）	建築面積（㎡）
一類	30,000～50,000	1,600
二類	15,000～29,999	1,085
三類	10,000～14,999	750

注：平均使用面積係数は0.65で計算する。

**第十六条** 社区高齢者デイサービスセンターの各種ルームの使用面積割合は、表2を参照して確定する。

表2 社区高齢者デイサービスセンター各種ルーム使用面積割合表

ルーム名称		使用面積の割合（％）		
		一類	二類	三類
高齢者 ルーム	生活サービスルーム	43.0	39.3	35.7
	ヘルスリハビリルーム	11.9	16.2	20.3
	レクリエーション ルーム	18.3	16.2	15.5
補助ルーム		26.8	28.3	28.5
合計		100.0	100.0	100.0

注：表に列記されている各機能ルームの使用面積割合は参考値であり、各地は実際の業務ニーズに応じ、総建築面積範囲内で適宜調整してもよい。

## 第四章 用地選定および計画配置

**第十七条** 社区高齢者デイサービスセンターの用地選定は、都市計画要求に合致させ、以下の条件を満たすべきである：

一、サービス対象が集中し、交通の便がよく、電力供給、給排水、通信などの都市行政条件が整っている。

二、医療機関などの公共サービス施設に近い。

三、環境が静かで、高騒音、汚染源からの防護距離が関連安全衛生規定に合致している。

**第十八条** 社区高齢者デイサービスセンターは建築低層部分に建築し、相対的に独立であり、かつ独立した出入口があるのが望ましい。二階建て以上の社区高齢者デイサービスセンターはエレベーターまたはバリアフリーのスロープを設置すべきである。バリアフリーのスロープの建築面積は、本建設基準で規定された総建築面積に含まれない。

**第十九条** 社区高齢者デイサービスセンターは、デイサービス高齢者の特徴と各施設の機能要求に基づいて合理的に配置し、区ごとに設置すべきである。

**第二十条** 社区高齢者デイサービスセンターの高齢者休憩ルームは、ヘルスリハビリ、レクリエーション、補助ルームとかけ離れ、お互い邪魔しないように配置する。

## 第五章 建築基準および関連施設

**第二十一条** 社区高齢者デイサービスセンターの建築基準は、デイサービス高齢者の心身の特徴およびサービス手順に基づき、経済水準および地域の条件に合わせて合理的に確定すべきである。主な建築の構造形式は、使用時の柔軟性を重視し、増築、改築のことを考慮に入れるべきである。

**第二十二条** 社区高齢者デイサービスセンターの建築設計は高齢者建築設計、都市道路、建築物バリアフリー設計、公共建築省エネ設計などの規範、基準、要求と規定に合致すべきである。

**第二十三条** 社区高齢者デイサービスセンターの建築は、鉄筋コンクリート構造を採用するのが望ましく、その耐震防備設計基準は重点防備設計類とすべきである。

**第二十四条** 社区高齢者デイサービスセンターの消防施設の配置は建築防火規範の関連規定に従うべきであり、その建築防火等級は二級以上とすべきである。

**第二十五条** 社区高齢者デイサービスセンターの高齢者休憩ルームは、各部屋に4~6人入れるのが望ましく、室内の通路と床（椅子）の距離は、車椅子の出入りと日常のケアのニーズを満たすべきである。高齢者の休憩ルームにはトイレを設置してもよい。その床は清掃しやすく、滑りにくいという要求を満たすべきである。

**第二十六条** 社区高齢者デイサービスセンターの高齢者ルームのドアの幅は90cm以上とし、通路の幅は180cm以上とすべきである。

**第二十七条** 社区高齢者デイサービスセンターの高齢者ルームは、日照および通風が良好な環境を保証し、自然採光を十分に利用すべきであり、窓と床の比率は1：6以上にすべきである。

**第二十八条** 社区高齢者デイサービスセンターの建築物の外観は温かみのある色調で、シンプルでゆったりとさせ、自然と調和させ、マークを統一させるべきである。内装は、バリアフリー、衛生、エコ、温かみといった要求に合致し、高齢者建築設計規範の関連規定に基づいて執行すべきである。

**第二十九条** 社区高齢者デイサービスセンターの電力供給施設は、設備および照明電力使用負荷の要求に合致すべきであり、緊急電源設備を配置するのが望ましい。

**第三十条** 社区高齢者デイサービスセンターは給排水施設を備え、国家の衛生基準に合致すべきである。その生活サービスルームは温水供給システムを備え、洗浄、入浴などの施設を配置すべきである。

**第三十一条** 厳寒地域、寒冷地域、夏暑く冬寒い地域の社区高齢者デイサービスセンターは暖房施設を備えるべきである。最も暑い月の平均室外気温が25℃またはそれ以上の地域の社区高齢者デイサービスセンターはエアコン設備を設置し、通風換気装置を備えるべきである。

**第三十二条** 社区高齢者デイサービスセンターは、インターネットサービスおよび情報化管理のニーズに応じて、ケーブルを敷設し、ポートを設置すべきである。

## 参考資料 主要名詞解釈

1. デイサービス高齢者：社区高齢者デイサービスセンターでケア、サービスを受ける高齢者。
2. 医療保健ルーム：デイサービス高齢者に簡単な医療サービスおよび健康指導を行う部屋。
3. リハビリテーションルーム：デイサービス高齢者にリハビリテーションを行う部屋。
4. インターネットルーム：デイサービス高齢者が、オンラインおよびインターネットを通じて、家族、友人と交流する部屋。
5. 多機能活動ルーム：デイサービス高齢者にレクリエーション、講座などの集団活動を実施する部屋。
6. カウンセリングルーム：デイサービス高齢者および家庭で高齢者の世話をしている者に心理カウンセリングおよびメンタルケアサービスを行う部屋。

## 本建設基準の用語および用語説明

1 本建設基準の条文を執行する際にそれぞれ異なる対応ができるようにするため、要求の厳格さが異なる用語を以下のように説明する：

1) 非常に厳格で、そのようにしなければならないことを示す用語：

肯定語は「しなければならない」、否定語は「厳しく禁じる」を用いる。

2) 厳格で、正常な状況ではいずれもそのようにすべきであることを示す用語：

肯定語は「べきである」、否定語は「すべきではない」または「してはならない」を用いる。

3) 若干の選択肢を認め、条件が許す場合はまずそのようにすべきであることを示す場合：

肯定語は「望ましい」、否定語は「望ましくない」を用いる。

4) 選択肢があり、一定の条件下ではそのようにしてよいことを示す場合は、「してもよい」を用いる。

2 本建設基準で、その他関連基準基準、規範に基づいて執行すべきことを指し示す場合は、「……の規定に合致すべきである」または「……に基づいて執行すべきである」と記載する。

付属文書

社区高齢者デイサービスセンター建設基準

条文説明



## 目 次

第一章	総則	(15)
第二章	建設内容およびプロジェクト構成	(18)
第三章	建設規模および面積指標	(20)
第四章	用地選定および計画配置	(23)
第五章	建築基準および関連施設	(24)

## 第一章 総 則

**第一条** 本条は、本建設基準の制定目的および意義を詳細に説明する。

中国の高齢化には、スピードが速く、規模が大きく、持続時間が長いという特徴がある。2020年には、中国の高齢者は2億4,800万人に達し、高齢化率は17.17%に達する見込みである。年を取って体が弱く、慢性疾患または障害のある多くの高齢者は、日中家に世話をする人がいないため、生活の質が低くなるだけでなく、多くの危険リスクに直面している。現在、中国で身の周りのことを自分でする能力を一部失い、日常生活を他人に世話してもらわなければならない半能力喪失高齢者の数は二千万人近くになっている。家庭の規模および家庭のケア資源が日に日に縮小していく中、どのように社区を拠り所として高齢者のケアのニーズを満たし、彼らが自分がよく知っている家庭、社区で引き続き生活できるようにするかが、すでに政府および社会から広く関心を寄せられている。

党、政府は社区の養老サービスを非常に重視しており、『中国共産党中央、国务院の高齢者事業の強化に関する決定』には、「家庭による養老を基盤とし、社区サービスを拠り所とし、社会による養老を補足とする養老メカニズムを構築する」と明確に記載されている。全国老齡工作委员会弁公室、発展・改革委員会、民政部などの十の部門、委員会が共同で公布した『養老サービス業の発展加速に関する意見』、『在宅養老サービス活動の全面的推進に関する意見』ではそれぞれ、「在宅養老を基盤とし、社区のサービスを拠り所とし、施設による養老を補足とするサービス体系を構築、整備していかなければならない」、「都市社区に、様々な形式で、広くカバーする在宅養老サービスネットワークをおおむね構築しなければならない」とされている。

社区高齢者デイサービス施設の建設強化は、養老サービスは「社区サービスを拠り所とする」という政策精神の徹底的実行の集中的具現化であり、養老サービス体系の構築には欠くことのできない重要なプロセスである。社区高齢者デイサービスセンターは、ここ数年急速に発展しており、社区高齢者のデイサービスのニーズを満たす面で重要な役割を果たしている。

しかし、現在、中国の高齢者デイサービスインフラの建設は全体的に薄弱で、施設が不足しており、既存の施設には、面積が狭い、機能が単一的である、サービス水準が低いなどといった際立った問題がある。社区高齢者デイサービスセンターの新築、改築、増築の建設規模および水準を合理的に確定し、関連施設を整備し、建築配置および設計の標準化を図るには、関連建設基準を制定することが必要である。本建設基準の編制および実施を通じ、社区高齢者デイサ

ービスセンターの建設をさらに強化、標準化し、投資の効益および社会的効益を高め、高齢者により良いサービスを提供することができる。

**第二条** 本条は、本建設基準の役割およびその権威性を説明する。

本建設基準は、政府の投資事業の建設行為を標準化し、事業プロジェクトの科学的管理を強化し、投資規模および建設水準を合理的に確定し、投資の効益を十分に発揮するという視点に立っており、事業建設基準の編制に関する規定および手順を厳格に適用し、掘り下げた調査研究を行い、実践経験を総括し、科学的論証を行い、関連機関および専門家の意見を広く聞き取り、編制の質を確保している。同時に、実情に合い、操作しやすいようにするため、地域、経済発展レベル、サービス対象数などにおける相違点も考慮している。そのため、建設基準は、社区高齢者デイサービスセンター建設の全国統一基準となっている。

**第三条** 本条は、本建設基準の適用範囲を詳細に説明する。

各地の社区高齢者デイサービスセンターの現状が異なっており、地域によって新築、改築、増築する必要があることを考慮し、実際の操作を行いやすくするため、本建設基準は適用範囲に対しこの規定を設けた。養老サービスは、「社区サービスを拠り所とする」という政策精神を徹底的に実行し、社区の養老サービスにおける役割をより良く発揮させ、社区の高齢者の多様化した養老サービスのニーズを満たすため、本建設基準は、社区高齢者デイサービスセンターのサービス対象および機能に規定を設けた。

**第四条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター建設の指導思想および原則を説明する。

社区高齢者デイサービスセンターは、デイサービス高齢者に直接サービスを行う基本的施設であり、その建設は国家経済建設の方針政策を遵守し、関係法律法規に合致すべきである。実際のニーズに基づいて、現地に適した政策を講じ、社区高齢者デイサービスセンターの建設水準を合理的に確定し、ニーズと可能なことの間を正確に処理し、実情とかけ離れた盲目的な建設を回避しなければならない。

**第五条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター建設の全体要求を説明する。

これは社区高齢者デイサービスセンターの業務性質、任務および特徴に基づいて提起したものである。

**第六条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの資金投入、建設用地に対する要求を明確にする。

社区高齢者デイサービスセンターは、社会公共サービス施設に属するため、その建設水準は、国情、現地の事情に合致し、実情に立脚し、経済・社会発展

水準を超えることも、それに立ち遅れることもないようにすべきである。さらにその建設プロジェクトは国民経済・社会発展計画に盛り込むべきであり、政府の資金投入を確保し、建設用地も現地の都市計画に盛り込まなければならない。

**第七条** 本条は本建設基準実施の基本的要求を明確にする。

社会資源を存分に生かし、不要な重複建設を回避するため、社区高齢者デイサービスセンターは、その他社区公共サービスおよび福祉施設との資源統合、共有を実現すべきである。同時に、社区高齢者公共サービス施設として、社区のその他高齢者向け施設との統一計画、合理的配置を行わなければならない。省エネ・排出削減は国策であり、本建設基準はこれを強調する。

**第八条** 本条は、本建設基準と国家関連基準、規範、規定との関係を説明する。

## 第二章 建設内容およびプロジェクト構成

**第九条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター建設プロジェクトの主要構成内容を明確にする。

これは、社区高齢者デイサービスセンターが高齢者に、生活の世話、ヘルスリハビリ、レクリエーション、送迎などの各サービスを提供し、その他保障業務を行う際に備えていなければならない基本建設プロジェクトである。

**第十条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建物建築の主な内容を明確にする。各地の高齢者のニーズが異なることを考慮し、各地が実際のニーズに基づいて現地に合わせた対策を講じ、社区高齢者デイサービスセンター建物建築の具体的な内容を合理的に確定することを認める。

高齢者生活サービスルームは、主に、デイサービス高齢者の休憩、食事、入浴介助などの面でのニーズを満たし、休憩ルーム、レストラン、風呂場が含まれる。

高齢者ヘルスリハビリルームは、デイサービス高齢者に簡単な医療サービス、基本的なリハビリテーションおよびメンタルヘルスサービスを行うための部屋であり、医療保健ルーム、リハビリテーションルーム、カウンセリングルームが含まれる。中でも、カウンセリングルームの設置は、必要のあるデイサービス高齢者および家庭で高齢者の世話をしている者に心理カウンセリングおよびメンタルサポートサービスを行うためである。

高齢者レクリエーションルームは、デイサービス高齢者がレクリエーション活動を実施したり、社会的交流を行ったりする部屋であり、閲覧ルーム（書画室を含む）、インターネットルーム、多機能活動ルームが含まれる。多機能活動ルームの設置は、デイサービス高齢者が集まってお喋りするのに使えるだけでなく、レクリエーション、講習会、研修などの集団活動実施のニーズに応えることもできる。

補助ルームは、社区高齢者デイサービスセンターの日常管理および後方勤務サービスを秩序正しく行うために設置しなければならない基本的な部屋である。

**第十一条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター建築設備の基本内容を明確にする。

**第十二条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターが設置すべきスペースを明確にする。

社区高齢者デイサービスセンターは、一部のデイサービス高齢者に、自宅と社区高齢者デイサービスセンターとの間を往復するための車輛送迎サービスを提供する必要があるため、道路および駐車場を設置しなければならない。デ

イサービス高齢者の屋外での活動、リハビリのニーズを満たすため、必要な屋外活動スペースおよび緑地を設置すべきである。

**第十三条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターが配備すべき関連設備を明確にする。

これは、社区高齢者デイサービスセンターのサービス内容および機能要求に基づいて打ち出したものである。各種社区高齢者デイサービスセンターの関連設備の配置は附表1を参照。

**附表1 社区高齢者デイサービスセンター装置配置表**

設備種類	具体的設備	類別		
		一類	二類	三類
生活サービス	入浴専用椅子	√	√	√
	車椅子	√	√	√
	スタッフコール機	√	√	√
ヘルスリハビリ	マッサージベッド（チェア）	√	√	√
	バランスポール、肋木、手すり、手指トレーニング器、大腿四頭筋トレーニング器、トレーニングマット	√	√	√
	血圧計、聴診器	√	√	√
レクリエーション	テレビ、プロジェクター、プレーヤー	√	√	√
	コンピューターおよびインターネット設備	√	√	√
セキュリティー	監視設備	√	√	√
	測位設備	√	√	√
	カメラ	√	√	√
交通ツール	高齢者送迎車	√	√	√
	物品調達車	√	√	√

注：√は備えるべき物を示す。

### 第三章 建設規模および面積指標

**第十四条** 本条は社区高齢者デイサービスセンター建設規模の確定根拠を明確にする。

社区高齢者デイサービスセンターの建設規模はそのサービス対象——デイサービス高齢者の数で決まるが、デイサービス高齢者の数量は社区に居住している人口と直接関係しているため、本建設基準が社区居住人口が社区高齢者デイサービスセンター規模分類の主な根拠となる。同時に、デイサービス高齢者の多くが体が不自由であることを考慮し、社区高齢者デイサービスセンターの高齢者向けサービスの利便性を確保するため、社区高齢者デイサービスセンターの建設規模を確定する際は、そのサービス半径などの要素も考慮すべきである。

**第十五条、第十六条** 本二条は、社区高齢者デイサービスセンターの規模分類と各種面積指標を明確にし、社区高齢者デイサービスセンターの各種ルームの使用面積が総使用面積に占める割合を規定する。

『都市居住区計画設計規範』GB 50180 では、居住区を、人口規模と居住世帯数に基づいて、居住区（30,000～50,000人、10,000～16,000世帯）、小区（10,000～15,000人、3,000～5,000世帯）、組団（1,000～3,000人、300～1,000世帯）の三級に分けている。『城鎮（都市・小都市）高齢者施設設計規範』GB 50437は、老人ホーム（社区の養老サービス場所は、デイサービスと入所の二種に分けられる）は、居住区および小区に建設されるのが望ましい、とはっきりと記載している。社区高齢者デイサービスセンターは、デイサービス高齢者に食事の提供、一人一人の世話、ヘルスリハビリ、レクリエーション、送迎などのデイサービスを行うため、正常な運営管理を維持するためには一定のサービス人口規模が必要であり、資源の統合および土地の集約使用の完全な実現に寄与しなければならない。社区の人口規模の差異性および実際の建設の操作可能性を考慮し、本建設基準は社区高齢者デイサービスセンターを三種類に分け、それぞれの面積指標を定めている。

人口の高齢化が急速に進んでいる情勢に適應するため、本建設基準は、面積指標を推算する際、2015年全国人口高齢化率（人口高齢化率=60歳およびそれ以上の高齢者人口数/総人口数）の予測値15.3%を用いているが、それぞれの社区の人口高齢化水準に大きな差があることを考慮し、高齢化率が高く、高齢者数が多い一部社区の高齢者デイサービスセンター建物建築面積の実際のニーズを満たすため、高齢者一人当たりの建築面積指標にも規定を設けた。

社区高齢者デイサービスセンターの総建築面積指標および各種ルーム使用

面積指標は、社区高齢者デイサービスセンターが各業務を実施する際の実際のニーズに基づき、各地の調査研究データの真摯な分析と総括を踏まえ、繰り返し論証して確定したものである。各種ルームの使用面積指標は附表2～附表6を参照。

**附表2 生活サービスルーム使用面積推算表**

ルーム名称	使用面積 (m <sup>2</sup> )		
	一類	二類	三類
休憩ルーム	321	180	101
風呂場 (理髪室を含む)	48	42	36
レストラン (配膳ルームを含む)	78	55	38
合計	447	277	174

**附表3 ヘルスリハビリルーム使用面積推算表**

ルーム名称	使用面積 (m <sup>2</sup> )		
	一類	二類	三類
医療保健ルーム	48	42	36
リハビリテーションルーム	58	54	48
カウンセリングルーム	18	18	15
合計	124	114	99

**附表4 レクリエーションルーム使用面積推算表**

ルーム名称	使用面積 (m <sup>2</sup> )		
	一類	二類	三類
閲覧ルーム (書画室を含む)	64	36	27
インターネットルーム	30	24	18
多機能活動ルーム	96	54	30
合計	190	114	75

**附表5 補助ルーム使用面積推算表**

ルーム名称	使用面積 (m <sup>2</sup> )		
	一類	二類	三類
事務室	36	30	24
キッチン	159	89	55
ランドリールーム	24	24	18
共同トイレ	36	36	24



その他ルーム	24	21	18
合計	279	200	139

附表6 各種ルーム使用面積推算表

ルーム名称		使用面積 (m <sup>2</sup> )		
		一類	二類	三類
高齢者 ルーム	生活サービスルーム	447	277	174
	ヘルスリハビリルーム	124	114	99
	レクリエーションルーム	190	114	75
補助ルーム		279	200	139
合計		1040	705	487

人口の高齢化水準が高い社区は社区高齢者デイサービスセンターの建築面積を適宜増やす必要があることを考慮し、各種ルームの使用面積の推算を踏まえて、各種ルームの使用面積が総使用面積に占める割合を求めた。各地は現地に合わせた政策を講じ、センター総建設面積を変えないという前提の下、適宜各業務ルームの面積分配を調整してもよい。

## 第四章 用地選定および計画配置

**第十七条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの用地選定に関する要求を明確にする。

社区高齢者デイサービスセンターの性質および任務に基づき、その建設プロジェクトの用地を選定する際には、人口分布、都市行政条件、周辺の環境などの要素を総合的に考慮し、市民の便宜を図り、サービスが行いやすくなるようにしなければならない。同時に、候補用地はその他高齢者向けサービス施設の近くにし、資源の統合および供給にプラスになるようにするのが望ましい。

**第十八条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建物建築および垂直方向の交通要求を説明する。

社区高齢者デイサービスセンターの業務性質およびデイサービス高齢者の多くが体が不自由だという身体的特徴に基づいて、本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建物建築に対する要求を打ち出す。社区高齢者デイサービスセンターの建設規模が小さいことを鑑み、土地資源を節約するため、その他社区サービス施設と合併建設するのがよいが、建物の低層に独立させて設置すべきであり、独立した出入り口があるのが望ましく、地下の使用を禁止する。高齢者が使用しやすいようにするため、垂直方向の交通にはエレベーターなどのバリアフリー施設を設置したほうがよい。資金投入が難しい場合、バリアフリーのスロープを設置しなければならない。スロープ建築面積は別途計算し、本建設基準で規定された総建築面積に計上しない。

**第十九条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの全体配置の原則を説明する。

**第二十条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの高齢者休憩ルームの設置要求を説明する。

高齢者が日中の休憩を邪魔されないようにするため、本条はこの規定を設ける。

## 第五章 建築基準および関連施設

**第二十一条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建築設計が遵守すべき原則を明確にする。

これは、社区高齢者デイサービスセンターの業務特徴およびサービス要求に基づいて打ち出したものである。社会・経済の発展に伴って、社区高齢者デイサービスセンターのサービス内容、形式および要求も絶えず拡大、向上し、多様化しており、今後の発展ニーズを満たすため、その主要建築設計は増築、改造のことを考慮にいれるべきだと提起する。

**第二十二条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建築設計が満たすべき関連建築基準および規範を明確にする。

**第二十三条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建物・建築構造および耐震強度に対する要求を打ち出す。

**第二十四条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの建築の防火に対する要求を明確にする。

**第二十五条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター高齢者休憩ルームの設置に対する要求を説明する。

調査研究によると、高齢者へのサービスを行いやすくし、異なるタイプのデイサービス高齢者のニーズを満たすため、高齢者休憩ルームは、一部屋当たり4~6人が入れるのが望ましいという。また、一部の体が不自由な高齢者が出入りしやすいようにし、その安全を確保するため、本条は、室内通路、ベッド（椅子）間の距離、トイレの床に対し規定を設ける。

**第二十六条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの高齢者用ルームドア、通路の幅を明確にする。

これは、一部のデイサービス高齢者が車椅子で出入りする、廊下でリターンする、並んで移動するという実際のニーズを考慮して規定したものである。

**第二十七条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター高齢者用ルームの日照、通風、採光条件を明確にする。

**第二十八条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンター建築の内装、外装に対する要求を説明する。

社区高齢者デイサービスセンター建築の外観の色調を強調し、統一マークを設けるのは、高齢者の社区高齢者デイサービスセンターに対する認知と帰属感を強めるためである。高齢者が生活しやすいようにし、高齢者の感情的なニーズを満たすため、社区高齢者デイサービスセンターの室内リフォームに規定を

設けている。

**第二十九条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの電力使用要求を明確にする。

**第三十条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの給排水および温水供給システムに対する要求を打ち出す。

**第三十一条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターの暖房供給および空気調節への要求を明確にする。

**第三十二条** 本条は、社区高齢者デイサービスセンターのインターネットケーブルの配置およびポートの設置に対する要求を打ち出す。

原文リンク：

<http://files2.mca.gov.cn/www/201104/20110428163414710.pdf>